D190010

「Cisco Webex」と「マガタマサービス」の SAML 連携

株式会社ディー・ディー・エス

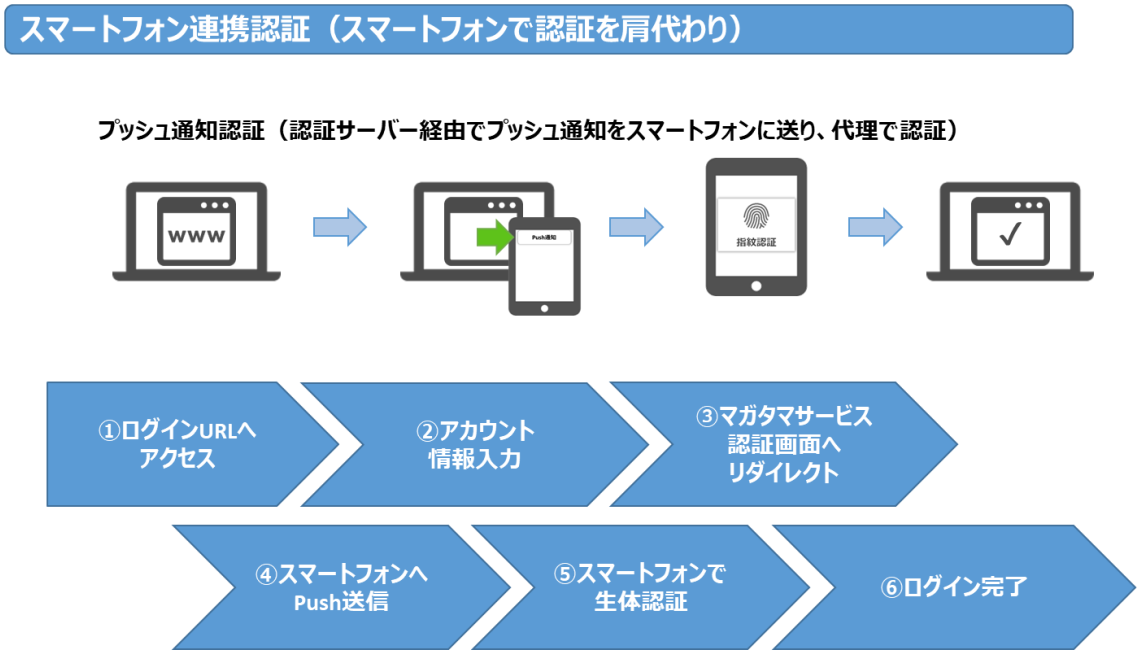
1. Cisco Webex との SAML 連携

音声会議、ビデオ会議、Web 会議をすべてひとつに統合する「Cisco Webex」と次世代オンライン認証規格 FIDO（Fast IDentity Online）に対応したクラウド本人認証「マガタマサービス」を連携し、シンプルな認証で安全なサービス利用を実現します。

2. Cisco Webex について

「Cisco Webex」は、世界で最も利用されている Web 会議システムです。インターネット経由であるにもかかわらず複数人での高品質なコミュニケーションが可能なため、毎月 2,000 万件以上ものミーティングに活用されています。

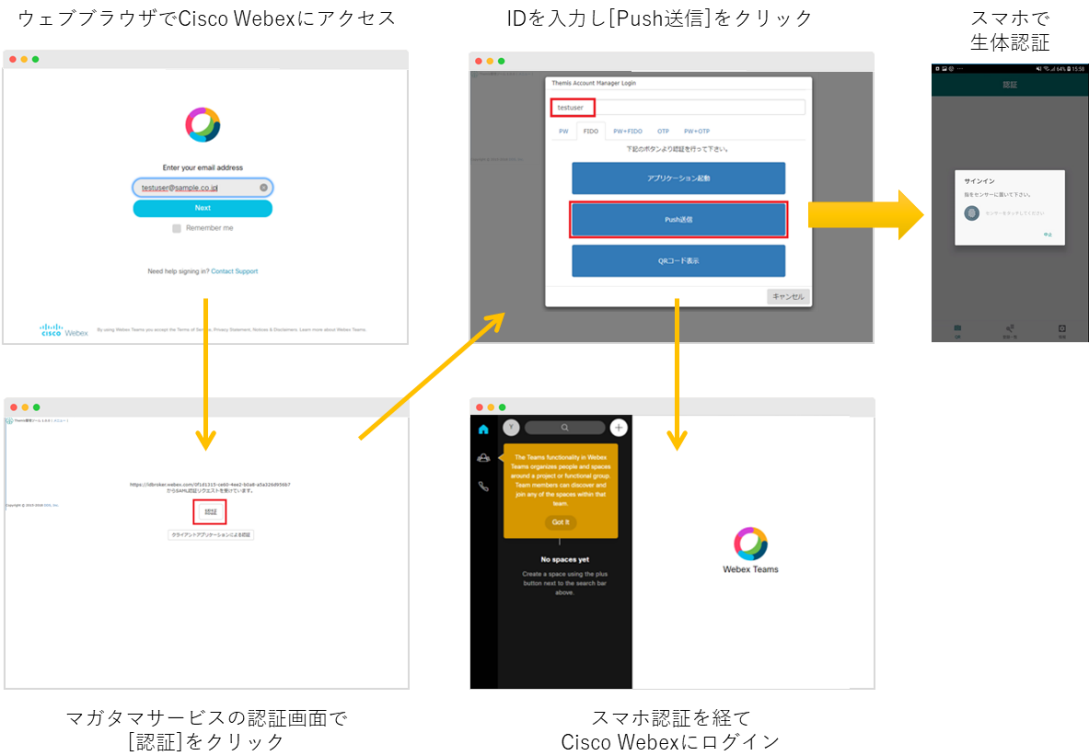
3. 連携イメージ



Cisco Webex では、様々な PC での Web ブラウザでのアクセスから、Windows、macOS、iOS、Android デバイスでのアプリケーションからの認証でマガタマサービスがご利用いただけます。

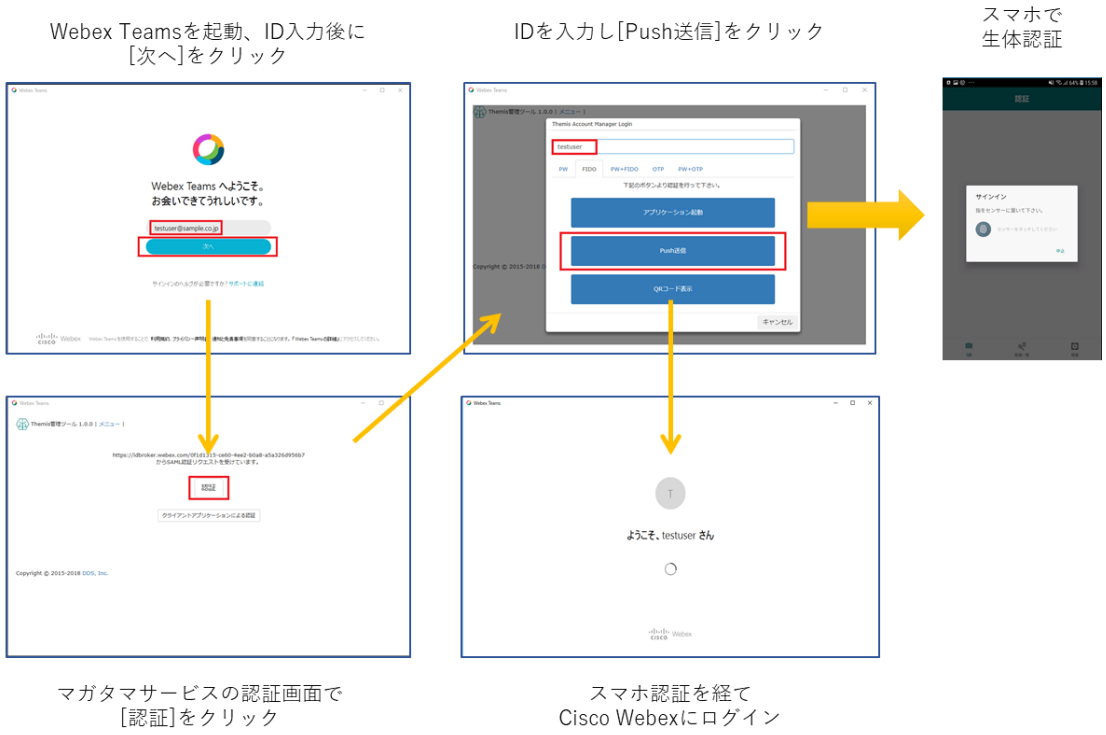
(1) Web ブラウザ経由の場合

ブラウザで「Cisco Webex」へアクセス（ログイン ID を入力して[Next]をクリック）するとマガタマサービスの認証にリダイレクトされます。マガタマサービスの認証でスマートフォンへの［Push 送信］を選択することで、スマートフォンの生体認証で認証が可能となります。通知を受けたスマートフォンで生体認証をすることで、「Cisco Webex」へログインします。



(2) Windows/macOS アプリケーションの場合

アプリケーション「Webex Teams」を起動し、ログイン ID を入力して[次へ]をクリックすると、マガタマサービスの認証にリダイレクトされます。マガタマサービスの認証でスマートフォンへの［Push 送信］を選択することで、スマートフォンの生体認証で認証が可能となります。通知を受けたスマートフォンで生体認証をすることで、「Webex Teams」へログインします。

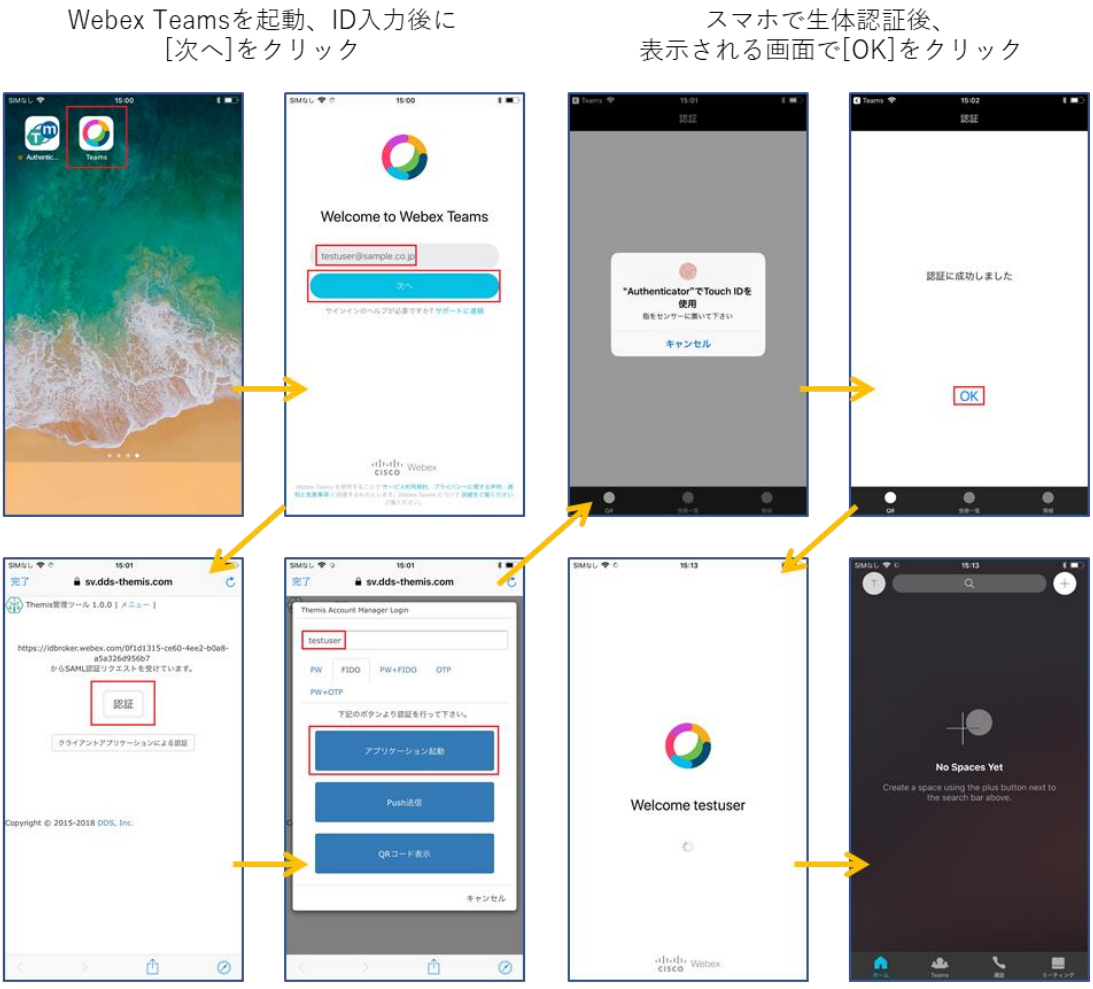


(3) Android アプリケーションの場合

Android のアプリケーション（「Webex Teams」アプリ）を起動し、ログイン ID を入力して[次へ]をクリックすると、マガタマサービスの認証にリダイレクトされます。マガタマサービスの認証でスマートフォンへの［Push 送信］を選択することで、スマートフォンの生体認証で認証が可能となります。スマートフォンで生体認証を行うことで「Webex Teams」アプリへログインします。

(4) iOS アプリケーションの場合

iOS のアプリケーション（「Webex Teams」アプリ）を起動し、ログイン ID を入力して[次へ]をクリックすると、マガタマサービスの認証にリダイレクトされます。マガタマサービスの認証でスマートフォンでの認証を行う［アプリケーション起動］を選択することで、iOS の生体認証（Touch ID など）での認証が可能となります。スマートフォンで生体認証を行うことで「Webex Teams」アプリへログインします。



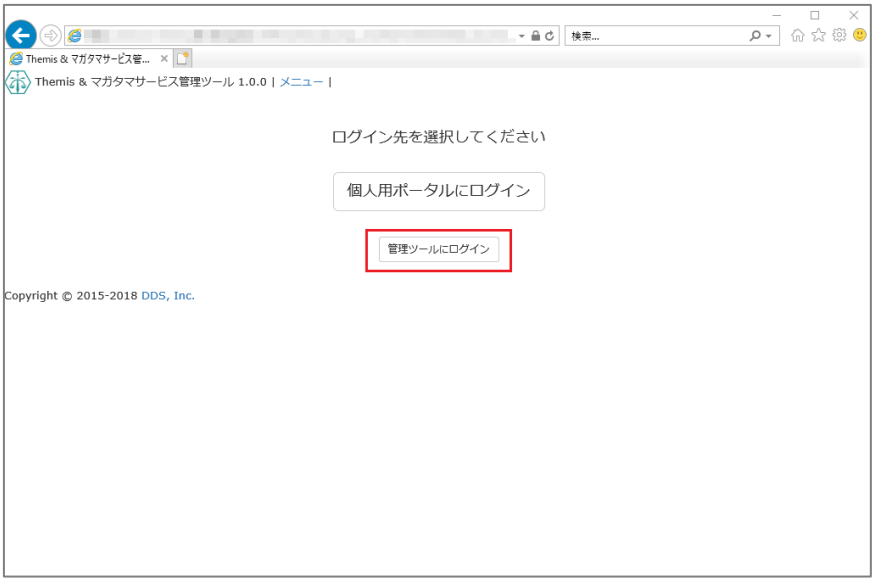
4. SAML 登録方法

(5) サービスプロバイダー情報（以下 SP と記述）の登録

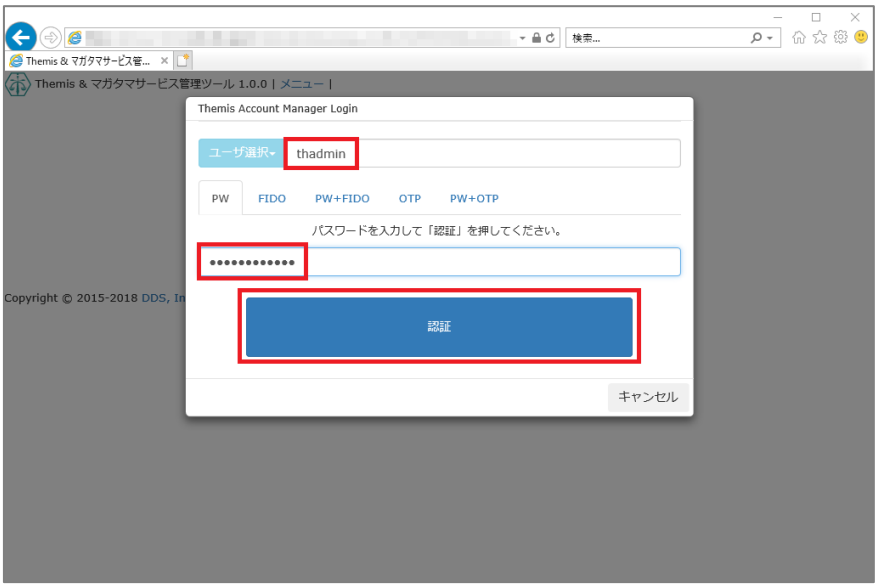
i. アプリケーションの登録

Cisco Webex の SP としての情報をマガタマサービス管理ツールへ登録します。

Internet Explorer で管理ツールを開き、「管理ツールにログイン」をクリックします。



管理者用のユーザー名とパスワードを入力して「認証」をクリックし、管理者としてログインします。



全体で設定されている「DEMO CUSTOMER」（名称は任意で設定いただけます）を選択し、「認証情報」タブをクリックします。アプリケーションの「50010 SAML application」の「追加」をクリックしてアプリケーションの新規作成を行います。

「アプリケーション名」と「概要」を入力し、必要な認証要素にチェックを入れて「保存」をクリックします。

「アプリケーション情報を作成しました。」と表示されます。登録した名前のアプリケーションが作成されていればアプリケーションの登録が完了となります。

ii. Cisco Webex の SP 情報の登録

管理ツール画面で全体の「DEMO CUSTOMER」を選択し、「認証情報」タブをクリックします。その後、アプリケーションの「Cisco Webex」の「詳細」をクリックします。

「Service Provider 情報の設定」の画面に遷移します。ここに、Cisco Webex の SP としての情報を登録します。

Service Provider 情報の設定

設定変数	値
SP の名前	任意の名称を設定ください
Issuer	※1
SSO エンドポイント	※1
SLO エンドポイント	-
メタデータ URL	-
フィンガープリント	-
RelayState	-

※1 詳細は Cisco Webex の SAML 認証ガイドを御覧ください。

(6) ID プロバイダー（以下 Idp と記述）情報の登録

マガタマサービスの Idp としての情報を INSUITE へ登録します。

管理ツール画面で全体の「DEMO CUSTOMER」を選択し、「認証情報」タブをクリックします。その後、アプリケーションの「Cisco Webex」の「SSO」をクリックします。

「SSO 設定情報」が表示されます。ここで表示される「SSO エンドポイント」、「SLO エンドポイント」、「メタデータ」、「X.509 証明書」の情報を「Cisco Webex」のフェデレーションサーバに登録します。

（例）SSO 設定情報ページ

ここまでの登録手順を実施することで、次回ログイン以降、「Cisco Webex」のログイン URL から「マガタマサービス」の認証ページにリダイレクトされ、FIDO 認証を利用しフェデレーションを行うことができるようになります。

以上